

新 ICTを活用した英語教育推進事業

「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」(国10/10)

現 状 と 課 題

1 国の動向

○次期学習指導要領の全面实施

- (1) 小学校
- ・3、4年生「外国語活動」の導入
→「聞くこと」「話すこと」中心
 - ・5、6年生「外国語科」として教科化
→「読むこと」「書くこと」を加えて指導
- (2) 中学校・高校
- ・対話的な言語活動を重視
→「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」の領域の設定
 - ・複数の領域を統合した言語活動の充実

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」

○Society5.0に向けた人材育成

- ・Society5.0の時代において、人間としての強みを発揮していくためには、全ての子どもたちが、基礎的読解力や数学的思考力など基盤的な力を確実に習得することが重要。
- ・学校においてAI等の先端技術を利用した未来型教育テクノロジーを効果的に活用することにより、全ての子どもたちに対し、一人一人の進捗や能力、関心に応じた最適化された学び(「公正に個別最適化された学び」)を提供できる可能性。

2 富山県の現状

○生徒に求められる英語力(県の目標)と現状

- ・中学3年 英語検定3級以上相当(50%):44.6%
- ・高校3年 英語検定準2級以上相当(50%):54.8%

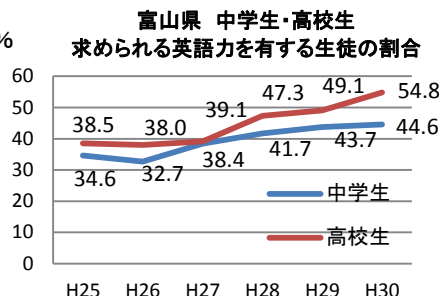
○授業におけるICT機器の活用

- ・教材の場面や資料等の画像、映像提示
- ・発音練習や聞き取り練習
- ・録画、録音による相互評価、自己評価

3 課題

○生徒に求められる英語力の目標が未達成

○英語4技能育成のためのICT機器の活用が発展途上



事業の概要

英会話のアプリケーションソフトを活用して
児童生徒の英語力向上と教員の指導の充実に支援

- ・支援対象 小・中学校8校、高校2校
小中:朝日町3校、滑川市2校、高岡市1校、南砺市1校
高校:八尾高校、伏木高校
- ・支援内容 国10/10

＜アプリを用いたタブレット学習例（中学校）＞

- アプリ 英会話アプリ“Terra Talk”
使用料:一人年間6,000円

- ねらい AIとの英会話を通して、「話すこと」の力を強化する。

○使用例

- ・毎時間の授業の始めに10分間使用

＜生徒＞

- タブレットで英会話練習
 - ・アプリからの質問に回答
 - ・アプリによる発音指導
 - ・繰り返し発音練習

＜アプリ＞

- 生徒の回答を基に、発音や表現の出来を自動的に診断
- 英語の苦手分野を特定
- ↓
- 個々に応じた学習プランを提示
- 個人の英語力の伸びを診断



＜教師＞

- 学習状況を的確に把握、客観的に評価
- 個別学習支援を充実



- ・生徒の話すことの力の向上
- ・主体的に学習に取り組む態度の育成

文科省の公募が行われ次第実施(令和元年6月26日現在公募されていない)